

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじいろプラス(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 27日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 27日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動スペースを利用した小集団活動のプログラム構成ができています	その日に計画している小集団活動に如何に参加してくれるか	その日の利用児全員が興味(参加・不参加問わず)を示してくれるような活動内容を検討していくこと
2	連絡帳などでその日の様子を伝えることができています	定型化しないようにその日の様子がわかるように記載をしている	連絡帳への記入方法がよくないため、要点をまとめた連絡帳作りが必要
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スーパーバイスの適任者がおらず、指導力の不足がスタッフの支援の質の向上は見込まれていない	児童発達支援管理責任者の選定および管理者の助言など、従業員に対する役割をきちんと持っていくべき	チーム力として、従業員の相乗効果が出ておらず、機能が発揮できていないため、総合的に見直しが必要。
2	児童に対する情報共有方法が弱い	全体周知の仕方、会議の仕方などでまとまりがない	情報共有方法の仕方、事業所内での解決ができるように十分な時間を取っていくこと
3			